

## テーマ「小学校入試までの過ごし方」

日時：10月22日（土）

場所：いりなか校

対象：小学校受験生の保護者

### ◆講演1／責任者 森浩晃

#### 子どもの全てを受け入れながら

#### 温かく日常を刻んでいく

受験まで時間が迫ってきましたが、日常を淡々と刻んでいくことが基本です。出来ないことがどうしても目に付くと思いますが、それによってお父さんやお母さんがイライラするのは避けてください。出来ないことも含めて全て受け入れる。イライラは私たちの中にある生命エネルギーをダウンさせてしまいます。叱られて元気になる子はいないように、「大丈夫だよ」と子どもにもご自分にも言い聞かせてください。そうしてお子さんやご両親のエネルギーレベルを高く保ってください。入試当日に向け、複数校を受験される方はそれぞれの入試に、ピークになるイメージを持ってください。

小学校受験は親のウェイトが大きいです。これも貴重な経験と捉えてください。小学校受験、中学受験、また、高校受験、大学受験はそれぞれ異なり、学年が上がるほどお子さんのウェイトが大きくなっていきます。

家族一丸で向かうのが小学校受験。何があっても許せる人間関係を築けるのが家族です。朝、お子さんの顔を見たらニコツとする。これを忘れてはいけません。人間愛、家族愛、人を心から好きになることが全ての根本です。人は一人では生きていけず、支え合っています。

戦後、おじいちゃんやおばあちゃん、ひいおじいちゃんやひいおばあちゃんたちが日本を再建するためにもものすごく努力してくれました。そのおかげで今の豊かさがあります。ここにいる方で、明日食べる物がないお家はないはず。私たちはそれを当たり前と思っていますが、そうでない家庭、地域、国がたくさんあります。また、受験したくても経済事情などでできないお家も、また、塾に来られないお家もあります。豊かさを作ってくれた努力への感謝をお父さんとお母さんが持っていただく。そうすると、遺伝子の一番近い子どもさんに正しく伝わっていきます。

#### 受験はあくまでひとつの目標

#### その先に人生の目的がある

とても優秀で、年長さんと思えないほど気遣いの出来る子がいましたが、どういうわけか不合格になりました。しかし、再チャレンジの編入試験で成功しました。そのお家は大きな会社を経営されており、そのトップになるには相当な力量が求められます。思い通りにならない経験と次を目指したい苦勞をしたのはよかったのではと思います。

人生の目的は小学校受験ではありませんね。親としては、将来こんな仕事をしてほしい、あるいは家業を継いでほしいと考えますが、そのためには人に慕われる性格や、能力、教養、また、競合相手とも折り合いをつけながらうまくやっていく、高いレベルの素養が必要になってきます。そうした人生の目的を思い描いておけば、結果に関わらずすぐに次へ進めます。

志望校に不合格で、6年間足踏みした子もいます。中学校へ行けてなかったようで、「1年程来ていません」と学校から連絡があつて、ご両親は初めてそのことを知ったそうです。入試が目的になっていたことで、人生を見失ってしまったのでしょうか。受験はひとつの目標、手段であり、その上に人生の目的があることを私たちがもつとうまく伝えていたら、状況は違ったかも知れません。今、その子はやり直し、懸命に勉強しています。もしかしてその子にはその経験が必要だったのかもしれない。

何があつてもデンと構えて動じず、どんな結果になろうともそれが子どもにとってベストだと信じてください。そうできるためには、呼吸をゆっくりすること。悟りを開く修行としてたくさんの人たちが座禅や、苦行、難行を行ってきていますが、ベースはそこです。いつでも落ち着いていられる状態。呼吸が浅くなると、感情に左右されやすくなります。それでは内から湧いてくるアイデアもキャッチできません。いつも慌てず騒がず、落ち着いて暮らす。そんな日常を送ることが大切です。

## ◆講演2 / 責任者 森幸子

### 「合格したら」をイメージする

#### 完璧を求め過ぎない

小学校で合格できなかった子が、次の中学受験も乗り越えられない時。何が原因かと思うと、「落ちるのが怖い」と言います。私たちは合格を全員させたい。でもまず、受かるのは少数だと認識してください。落ちる方が多いのです。だからこそ「落ちたらどうしよう」ではなく「受かったら嬉しい」と考えなくてはいけません。「落ちたらどうしよう」と思っていたら本当に落ちるよ」と言って来たにも関わらず、「受かりますか？」と聞く方がいます。そんな質問には答えません。合格させようと思っているから。では「受からない」と言ったら受験をやめるのですか？負の思考は負の結果を創出し、そちらに向かわせます。

完璧を求め過ぎないでください。目指しても完璧に満点が取れる人はいません。また、

テストが満点でも、人間的な成長が出来ているとは限りません。東大を目指していたある子は、センター英語は3年間満点でした。しかし、東大には受からず、名古屋大学医学部に後期で入ってきました。彼はアメリカの研修では、外出時もパスポートを持って歩くという常識も知りませんでした。浪人をしていた足踏みの時は色々なことに目を向けるチャンスだったのに、テストで満点を取ることに目が行っていました。

今はあまりにも困難の経験が少なすぎるんです。だから神様が、必要な経験値として、ここでちょっと足踏みさせようと考えることがあります。

私は小学校受験で落ちました。今の入試とほとんど同じで、「朝は何を食べましたか?」「好きなものは何ですか?」と意地悪そうな試験官のおじさんが聞きます。その答えで母が悪く思われるのではないか、さらに嫌な質問をしてくるだろうと考え、答えなかったんです。テストも、こんな簡単なもので受かるの?とっていました。落ちたからと言って、能力が低いということではないと思います。今、先生について何か不満を言う子には、「意地悪な先生に会えてよかったじゃない」と言います。必要ない訓練です。

## 子どもを信じ、いい所を見る

### エネルギーの充填準備も

入試日にずっと泣いていた子がいました。でも会場に入ったらビシッと泣き止みました。受かりました。その子の中に、ここだけ辛抱したら受かるという計算があるんですね。子どもだからわかっていないと思わないでください。しっかりわかっています。

あるお母さんは、子どものいい所を5つぐらい書いて見やすい所に貼っておきました。ついガミガミ言っても、子どもはそれを見ているから、堂々と試験に臨め、今、南山小の1年生です。

具体的には、「朝ごはんは?」の質問への対応では、毎日メニューを変えず、1ヵ月は同じような内容にしてください。すでにそうしている方もいると思いますが、お握りがいいと思います。パンは丹田にぐっと気が入らないので、ご飯を食べさせてください。

今日は赤のダリアを持ってきましたが、こういう花など、身近に赤いものを置くと良いです。それから下着。お子さんもママもパパも、パンツは真っ赤をはいてください。丹田に気が入り、エネルギーが満ちます。水泳の金メダリストにもいつも赤いパンツをはいているという人がいました。

## 聞く力、どう行動できるかが重要

### 待つ時間も試験のうち

南山小は集合が8時半~50分、試験は9時10分からです。半に入る必要はないので、40分ぐらいに門を入り、ゼッケンをつけます。ここでご両親とお別れです。

ご両親には無記名のアンケートがあります。説明会に参加したかどうかといったもので、知ろうと思えば何番の人が何を書いたかわかりますが、神経質になる必要はありません。

ただ、スマホが禁止なのにやっている方がいるらしく、こういうのは落とされます。

9時10分から90分、約50項目のテストがあります。まず、自己紹介、どの季節が好きでその理由は何なのか、家族は何人かといったことを、円になったり、並んだりして話す時間があります。次が運動。大縄飛びも上手に入れるようにしておかないといけません。現在の1年生から出たのが、的当てです。当たらなかった時はボールを持って体操座りをする、ここがポイントです。重要なのは、聞く力、どう行動できるか。授業を妨害せず話を聞けるかなどを見るテストなので、大げさに捉えないでいいのです。出来なかった時の指示を理解し、それが出来るかが見られます。

また、次のお部屋に行く時に廊下に並ぶのですが、この時間も見られています。「ここでダラーッとする子はバツをつけるから、注意だよ」と、鋭い観察眼を持つジェイサチの生徒たちが言っていました。だから、お友達同士が一緒だとあまりよくないんですね。

以前、連番5人が当塾生徒だった時があり、答えの間違っている子が自信満々だと、合っていた子もつられちゃうんです。そんなことがあるので、「あなたは合っているから、自信を持って答えなさいね」と毎日言っていたきたいのが、今から1ヵ月です。

### 当日に合わせた習慣づくり

10時45分の回の終了は12時40分。お腹が空く頃です。今から当日のスケジュールに合わせてご飯を食べさせ、適切な時間に起こす習慣もつけてください。

一次試験も二次試験も公には公共交通機関で来てくださいとなっています。ビデオを見ている間に「今日、バスで来た人は？電車で来た人は？タクシーで来た人は？」と尋ねることもあり、油断できませんよ。

靴は新品を履いていくとダメなので、新調するならそれまでに。雨や雪の時には靴下の替えも用意してください。緊張するので、おもしろもあります。下着の替えも黙って入れておいてください。また、うんちの問題も。朝、排便しない子は途中でしたくなるんですね。夕飯で何を食べた時にちゃんと出来たかなどを把握することは大事です。そして、夜8時半までには寝かせてください。

生意気になってくる歳ですが、成長したと考えるてください。怒鳴らないでください。ママやパパが緊張すると影響します。お父様には、子どものできない所は言わないでください。強い言い方がグサッとくる子もいて、逆に潰してしまう場合があります。いい所を見てください。悪いことは3日で忘れます。いいことを覚えている、本来はそうなっているんです。

### 合格がゴールではないから

#### 入学後も伸び続ける教育を実践

南山小は男女合わせて90名で、今の4年生は男子40名、女子50数名です。30名枠の南山女子に行くのが大変です。男の子も10名前後は他へ行きます。それが現実です。

だから私たちは、入学後も能力が伸び続ける教育に取り組んでいます。重視するのはマル・バツではなく、どう考えたかのプロセス。「どうしてマルなの？」「こちらはバツだけど、どう思う？」と聞きます。また、初めは教えず、問題文を考えることから始めます。ものすごく頭が良くなります。なぜその答えかが説明できるようになると、全然発言できなかった子が一瞬で変わります。教え方がわからない時は聞いてください。